

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	水環境創造課
職	課長
氏名	中野 哲朗

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>人の健康の保護や生活環境の向上及び自然環境保全の観点から、水循環が上流域から下流域へという面的な広がり及び地表水と地下水を結ぶ立体的な広がりを有することを考慮し、公共用水域における望ましい水質の維持及び良質な水資源の確保を図る必要がある。また、地球温暖化対策の観点から、汚泥等の有機性廃棄物の処理処分から発生するメタンの排出抑制を図る必要がある。</p> <p>そのために、生活排水処理施設の整備、公共用水域及び地下水の水質監視、安全・安心な飲料水の確保などに関する企画及び総合調整などの施策を講じ、本県の財産である健全な水環境の保全を目指すほか、メタンの排出抑制及び有効利用を図ることで地球温暖化防止に寄与する。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
<p>豊かな水環境の保全及び地球環境の保全のため、以下の目標を設定する。</p> <p>①水環境の状態を示す指標が、県内全ての公共用水域で国が定める環境基準を達成する。</p> <p>②地域の状況に応じた生活排水処理施設整備を推進する。</p> <p>③有機廃棄物由来のメタンの排出抑制及び有効利用新技術の研究により温暖化対策を推進する。</p>						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
	①河川、湖沼、海域でのBOD(※1)又はCOD(※2)の環境基準の達成状況	80.9%	H22 年度	90%	H22年度(※3)	石川県新長期構想
	②市町における生活排水施設整備率(汚水処理人口普及率)	90.9%	H23 年度	90%	H22年度(※4)	石川県環境総合計画
	③二酸化炭素排出量削減	9,042千t	H20 年度	8,302千t	H22年度(※3)	石川県環境総合計画

(※1) BOD=[生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)]:河川水の水質汚濁の指標。数値が高いほど汚濁が著しい。

(※2) COD=[化学的酸素要求量(Chemical Oxygen Demand)]:海水、湖沼水の水質汚濁の指標。数値が高いほど汚濁が著しい。

(※3) H24以降も目標達成に向け努力

(※4) H24以降も一層の向上に向け努力

24年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①河北潟水質保全対策の検討	流入負荷の一層の削減や水辺環境の向上を進めるとともに、河北潟へ流入する西部承水路の末端に水質浄化施設を設置する。
②低コストの生活排水処理施設整備の推進	郊外集落や中山間地域など整備が進まない地域においては、地域の状況に応じた低コストの生活排水処理施設整備を図るよう市町を指導する。
③フィールド想定型実証実験及びメタン排出抑制技術委員会の開催、運営	県内技術者の技術力の更なる向上を図るとともに、設備の小規模化とこれに伴う建設費・維持管理費の縮減に取り組む。